



三浦 義光 議員
無会派

問 魅力ある弥富市の発信を

答 積極的に情報を発信

○地域活性化、地方創生実現のため、本市の魅力を市外へ発信していく手法について以下を問う。

問 移住ほど負担なく都市から人を呼び寄せる「関係人口」獲得の戦略は。

答〔総務部長〕 観光交流やSNS等を活用する。

問 市外から若い世帯を呼び込むため、子育てしやすい環境を展開していく施策とは。

答〔健康福祉部長〕 民間事業者の協力を得ながら、多種多様化する市民ニーズに応えていく。

問 若い单身世帯に転入してもらおう、魅力ある本市をアピールする手法は。

答〔総務部長〕 住んでみたい、住み続けたいと思えるよう官民、関係機関と連携し取り組む。

問 総括として、市長の考える魅力発信とは。

答〔市長〕 民間企業の動向を注視し、先進事例を研究して選ばれるまちを目指し、全身全霊で尽くしていく。



問	変化する農業施策への対応は
答	農地利用の姿を明確化に

問 農地関連法において、農地権利取得時の下限面積要件が廃止される改正案に対する考えは。

答〔建設部長〕 面積要件は50アール以上であるが、令和5年4月1日に要件廃止が想定。農業委員会は、一定の面積が必要と考える。

問 農業経営基盤強化促進法改正案において、地域計画に盛り込んだ農地関係情報を表示するデジタル地図作成期限に間に合うか。

答 関係機関と共に期日間に合うよう推進していく。



▲市内稲作風景

問 水田活用交付金の対象が厳格化されるが、この制度変更への説明は。

答 海部南部地域再生協議会の中で情報を共有し、対応していく。

問 変化に対応していく市長の考えは。

答〔市長〕 農地利用の姿を明確化できるように進めていく。